

かけはし

もりよし荘だより

NO. 13

平成29年4月1日

編集・発行

〒018-4301

秋田県北秋田市米内沢字七曲25番地
(社会福祉法人 交楽会)

介護老人保健施設 もりよし荘

TEL. 0186-72-5030 FAX. 0186-72-5017

<http://www.akita-kouraku.jp/>



雛飾りの前で記念撮影
春はもうすぐ。



「鬼は外ー！福は内ー！」

元気に豆まき

無病息災を心に願う



各ユニットの趣向をこらした豆まき

2月3日、もりよし荘での恒例行事である節分の豆まきが行われた。この日を利用者に思う存分楽しんでもらおうと、各ユニットが創意工夫を凝らし、それぞれに個性のある豆まきが行われた。「それ鬼は外、福は内」と、邪気を払い今年一年健康で過ごせるようにとの願いを込めて、豆を投げていたのが印象的だった。

ひな祭り



雛飾りを準備する利用者

3月3日はひな祭り。今年もひな壇を玄関前に利用者と一緒に飾った。今年の職員はひな壇飾り

に手馴れていない職員ばかりだった為、悪戦苦闘していた。それを見て手伝ってくれていた利用者の方々は苦笑しながらも「そうじゃね」「こう飾るんだ」などの確かな指示で職員を驚かせた。飾った後は「小さいころはこんな立派なのはなかった」「家のひな壇もしばらく飾ってねえからださねばなあ」「片づける時は早くしなければ嫁っこさいげねど」などと会話に花を咲かせていた。

書初め

「一筆入魂」

1月上旬、リハビリの一環として書初め大会が開催された。皆、昔を思い出しながら、一筆一筆に魂を込め、思い思いの言葉を書き上げた。自分の作品に納得がいかず、「もう一枚だけ、

書いてもいいですか？」と納得がいくまで書くこととする利用者も見られた。



真剣な表情の利用者

童心に戻る日

～心躍るクリスマス会～



プレゼントを選ぶ利用者

12月下旬、恒例のクリスマス会が行われた。全国的に感染症が流行する時期の為、残念ながら全体でのクリスマス会を行うことは出来ず、各ユニット趣向をこらしたクリスマス会を行った。

この日は利用者も職員も童心に戻りクリスマスケーキを食べ、「こんなにおいしいもんだば毎日食べても飽きねえな」「食べ過ぎて晩御飯食べれるべか」などと笑い声が絶えなかった。あるユニットではケーキを食べた後にビンゴ大会を開催



ビンゴを楽しむ利用者



一緒に踊る利用者と奉仕団の皆さん

森吉赤十字奉仕団来荘

11月1日森吉赤十字奉仕団の方々が来荘され利用者の方々が来荘され利用者を披露してくれた。その見事な踊りや歌に利用者からは「いい踊りっこだなあ」「見事なもんだ」「おれだちも踊りてえな」などの感嘆の声が聞かれた。その他にも歌にあわせて体操を行



華麗な踊りを披露

一年の締め括り

12月28日、もりよし荘でもちつき会が開かれ、昔ながらに臼ときねを使ってついた餅をお汁粉にして味わった。施設では一年の最後を締めくくる恒例行事で多くの利用者がホールに集まった。恒例行事なので、職員も餅のつき方は慣れた様子だが、結局最後には利用者にはアドバイスをもらっていた。「よいしょ」「頑張れ頑張れ」などの掛け声が響いた。



慣れた手つきでつく職員

い、利用者の方も一緒に体操に参加し楽しませてくれた。最後には奉仕団の皆さんと利用者の方が一緒になって踊り交流を深めた。

居宅介護支援事業所たより

ケアマネジャーの庄司 4月1日から北秋田市
 です。在宅で頑張っている皆様のお手伝いをさせていただきます。いつまでも元気に
 いただいております。奥に机がありますが、お
 もりよし荘事務所の一 気づきにならない方も多
 気づきにならない方も多 います。また、在宅介護支援セ
 4月1日から北秋田市 ンターとして総合相談窓

【もりよし荘居宅介護支 援事業所】 庄司信子
 Tel 0186-72-5033

脳卒中は予防が第一

地域福祉講座 ～頭痛の対処法について～

もりよし荘主催の地域福祉講座が、10月6日森吉コミュニティセンターにて開かれ、「脳卒中から身をまもろう」と題して秋田県立脳血管研究センター、センター長の石川達哉氏が講演した。会場には地域住民や福祉施設関係者ら約120名が参加した。

たことのない痛み、だんだん痛みが強くなってくる、突然痛み出した、などを判断の目安として示した。

講師の石川達哉氏



寄付・善意

野呂喜美子様 岸野隆文様 森川健治様 羽場確延様
 松橋忠一郎様 森川マサ子様 栗原保幸様

ボランティア

森吉赤十字奉仕団様



雉からの相談(?)

編集後記

今年の冬は、一月までほとんど雪が降らず気を緩めていきましたが、二月に入り大雪の連続で結局例年並みの降雪量だそうです。▼気の緩みと言えば、三月に入り法人内の異動の発表がありました。▼前が書かれているではありませんか。うめユニットで二年お世話になっており、今年もユニット間の移動かな、程度に思っていたので、▼もりよし荘に勤めて六年、充実した日々を過ごしており、他の施設への異動は全く考えてもいませんでした。▼不安とプレッシャーで押しつぶされそうですが、気持ちを引き締め、これまでの経験を糧にして新天地で頑張りたいと思います。▼これまで共に過ごしたもりよし荘の皆様へ感謝し、これからも、明るく楽しく思いやりのある施設であってほしいと思います。今まで大変有難う御座いました。

(T・H)